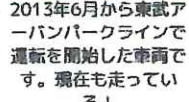
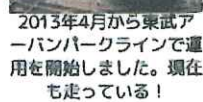
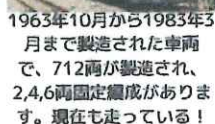
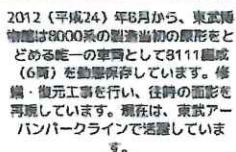


歴代の車両！



当初は野田町駅（現・野田市駅）から柏駅まで醤油を運ぶ貨物輸送のために建設されていました。かつては野田市のキッコーマン本社内に貨物駅が存在し、柏駅からは日本鉄道（現・JR東日本常磐線）経由で日本全国に醤油が輸送されていた。1985年3月14日の国鉄ダイヤ改正に併せて貨物輸送が廃止されるまで、柏駅8番線（現1番線）に貨物列車用の引込線が設けられていたんだ！



△たのしーと(イメージ)

東武アーバンパークラインNews!

東武鉄道によると、2025年から東武アーバンパークラインは、今の6両編成から、5両編成へと切り替えられます。

また、2025年春から順次、新型の80000系が導入されます！この新型車両は、25編成を導入予定で、そのうちの18両編成は、4両を新造し、1両を60000系からの流用車両を活用することで5両編成を構成します。

この車両のコンセプトは、当社が事業計画に掲げる「人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会」の実現に寄与すべく、安全で快適な車両であることに加え、子育て世代のご家族の皆様が快適にご利用いただける車 両構造をコンセプトに掲げました。エクステリアはアーバンパークラインの車両であることが一目でわかるように、現行60000系で採用した「フューチャーブルー」と「ブライトグリーン」のカラーリングを基調とし、先頭形状はエッジを目立たせることで先進性を表現しています。インテリアは「リビング」をテーマとし、ご乗車いただいた瞬間に気持ちが安らぐような落ち着いた客室空間を表現しています。一部箇所に『たのし〜と』を設定し、子供部屋をイメージしたわくわくする内装を施すとともに、ベビーカーをご利用のお客様が隣でお座りいただける構造を実現するそうです。

環境面においては、本格搭載としては民鉄初となる同期リラクタンスモータを採用した車両推進システムおよびリチウムイオン二次電池SCiBTMとSIV装置を組み合わせた車上バッテリーシステムを搭載し、消費電力を現行8000系と比べ40%以上削減し、高い省エネ性能と低騒音性により、環境負荷低減を実現するそうです。



△インテリア(イメージ)



△たのしーと部側面グラフィック
(イメージ)

僕のおばあちゃんの家は、東武アーバンパークライン線の近くにあつて、おばあちゃんの家に行くときは毎回使つてます。

東武アーバンパークラインに乗っているうちに、昔はどうだったのかなどと、疑問が生まれてくるようになりました。そこで今回調べてみると、知らないことが、たくさんあつて驚きました。

僕はアーバンパークラインが、5両編成になつてしまうのは悲しいけど、新型の8000系を楽しむにしたり、他の車両とは何が違うのかなどを探してみたいです。

東武線には、暮らしに助かるような電車などがたくさんいるので、ぼくはこれからもきたいしていきたいと思います。

[illegible]

1930年に全線開業！

東武野田線はどんな路線？

東武野田線は、埼玉県の大宮を起
点とし、埼玉県の春日部駅、千葉
県の柏駅を経由して、千葉県の船
橋駅までを結ぶ路線です。

埼玉県南東部から千葉県北西部の
東葛飾地域にかけて、東京から
の、三〇キロメートル圏内の東半
分を結ぶ路線で、一九三〇年に全
線が開通しました。郊外路線です
が、全線が東京近郊のベッドタウ
ンに位置し、一九八〇年代頃から
沿線の宅地化がいちじるしく通勤
利用が多いです。東武では伊勢崎
線、日光線などとともに東武本線
を構成する路線の一つで、伊勢崎
線、日光線・東上線に次ぐ基幹路
線と位置付けています。

練馬区立大泉学園緑小学校6年
蝦名蒼望

令和6年8月31日発行

東武アーバンパークライン
の環境に配慮した車両！



東武アーバンパークラインをはしる60000系の電車は、これまでの8000型と比べて使用電力が約40%も少ないです。また、車いすスペースの設置など、環境にとっても良い電車です。



△新造車両(イメージ)

●東武アーバンパークライン由来●

「東武アーバンパークライン」——本来の路線名は東武鉄道野田線で、アーバンパークラインは愛称である。「アーバン」(都市)と「パーク」(公園)の名の通り、都心に向かう路線への乗り換え駅が複数あるとともに、自然豊かで公園などが多いエリアを走る路線だ。

東武が路線のイメージアップを狙ってこの愛称を導入したのは2014年4月。各種案内に「アーバンパークライン」を使い、浸透をはかっているものの、6年経った今もいまだに「野田線」と呼ばれることが多くです。

愛称がいまいち広がらない一方で、同線の利用者は伸び続けており、2020年3月のダイヤ改正では全線で急行の運転が始まるなど、路線自体は発展を続けている。

なぜ「アーバンパークライン」はなかなか浸透しないのか。考えられる理由としては、「野田線」は漢字3文字、ひらがな「のだせん」で4文字。これに対して「アーバンパークライン」は力タカナ10文字。言いやすさに差がある。現在も「野田線」の呼称が使われるのは、「つ」にはこの点が大きいでしょう。

実際、沿線の千葉県鎌ケ谷市は、市のサイト上で「東武野田線」の表記を使っていたことについて「『東武アーバンパークライン』は倍以上の文字数となり、併記するにはさらに文字数が必要となること」を理由の一つに挙げていた。

野田線とアーバンパークラインのどちらの名前を使用しているかの調査も行われている。調査会社による沿線住民390人を対象にしたネット調査では、74.7%が野田線、25.3%がアーバンパークラインと呼んでいるという結果となった。愛称導入から6年を経ても、沿線住民の4分の3は従来の名前で呼び続けているわけだそう